

私の趣味『アクアリウム』

四十九期 福田匠太

— 人にちは。49期の福田と申します。社会人6年目となり、趣味の時間の大切さを感じていま
 〵 す。ON/OFFの切替えはもちろんのこと、OFF(余暇)を充実させることがON(仕事)の効率化に繋がるように感じています。ライフワークバランスとはこのことでしょうか。

さて、この記事では私の趣味を紹介したいと思います。With コロナ時代のため、インドアの趣味を選びました。理系の皆様なら、興味を持ちやすい趣味かもしれません(笑)

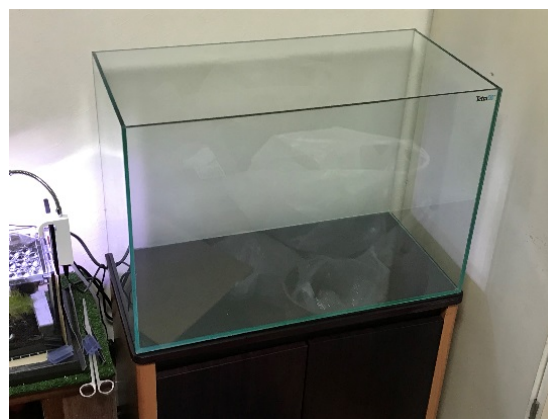
私の趣味は、アクアリウムです。アクアリウムと言っても様々ですが、ここでのアクアリウムとは、水槽の中で魚を飼うことです。メダカや金魚を飼った経験がある方も多いと思います。右図のように、水槽の中にフィルターポンプを付けて、ぶくぶく(エアレーション)を入れて、金魚などを飼うイメージがあると思います。



これまでの水槽のイメージ

最近はアクアリウムの楽しみ方・飼育方法が幅広くなりました。ぶくぶくで酸素を供給するのではなく、二酸化炭素を供給し、ライトで照らし、水草に光合成させて酸素供給・水質浄化を行う方法が増えてきました。私は、水流を工夫することでぶくぶくを使うことが無くなりました。また、フィルターによるろ過方法は生物ろ過が主流となっており、定期的に5分程度の水替え作業を行うだけで、掃除をしなくてもきれいな水を長期間維持することが可能になっています。昔やっていたような水槽の丸洗いは数年間やらなくてもいいのです。

これらの方法を駆使して、より一層楽しむことができるようになったのが水草レイアウトです。これが、私が大学4年生で出会い今も趣味になっているものです。右の写真は、空の水槽です。私は空の水槽を見るとわくわくします(笑)。



サイズは幅 60cm x 高さ 40cm x 奥行 30cm

レイアウト方法は単純です。まず水槽の中に砂やソイル(土)を敷きます。次に石や流木を配置し、水草を植えるだけです。自分の思うままに。この時の水草レイアウトは、『森の中』をテーマにしました。

まずは、土台作り。盛土や積み石で傾斜を作り奥行き感を出し、流木で大木をイメージしています。手前の底部には小さな洞窟を作りました。熱帯魚の隠れ家になることを妄想しながら細かい作業を繰り返します。次に、数種類の水草を植えていきます。地面を這うように育つ水草や大きく育つ水草など多種多様で、成長を想像しながら植栽します。



レイアウトが完了したら注水です。注水後は水質の管理を行います。この水質管理が難しく、経験が求められます。私も失敗を繰り返してきました。「水を飼う」という言葉がアクアリウム界に浸透していることに納得してしまいます。右の写真が、レイアウトしてから2カ月半の変貌です。



私は美的センスが皆無ですが、我ながら少し上達してきたと思えたレイアウトができました。しかし、全体的にごちゃごちゃしてしまったのが反省点です。水草は時間経過で成長するため、レイアウトも少しずつ変化します。この水槽は引越し時に解体しましたが、2年ほど楽しむことができた思い出のある水槽となりました。現在も幅 20 cm×高さ 20 cm×奥行 20 cmの小さな水槽を玄関に置いて、小さく趣味を楽しんでいます。

魚の飼育を極める人、
繁殖・品種改良を狙う
人、レイアウトに凝る
人、水質管理に興味を
持つ人、楽しみ方は人
それぞれです。

今回は私のアク
アリウムの楽し
み方を紹介しまし
た
が、好きなことに没頭
する時間は、日頃のス
トレスなどから解放され



るひと時です。忙しい時期もありますが、趣味の時間も大切にしていきたいと思います。この記事が、皆様の趣味を増やすきっかけになりますように。